

第8回
加茂市立小中学校
適正規模等検討委員会

- 日 時 令和4年9月30日(金) 13:30~
- 会 場 加茂市役所 5階 全員協議会室

第 8 回 加茂市立小中学校適正規模等検討委員会 名簿

委員

(敬称略)

No.	選出区分	氏名	所属等	備考
1	学識経験者	遠藤 英和	新潟大学大学院教育実践開発専攻(教職大学院) 特任教授	
2	学識経験者	滝沢 茂秋	加茂市議会議長	
3	地域関係者	中村 幸一	七谷地区区長会長(上高柳区長)	
4	地域関係者	中山 勇	加茂地区区長会長(新栄町区長)	欠席
5	地域関係者	皆川 輝一	下条地区区長会長(横江区長)	欠席
6	地域関係者	土田 秀男	須田地区区長会長(後須田第3区長)	
7	学校関係者	小畑 一二美	小学校校長会(加茂小校長)	
8	学校関係者	平野 政幸	中学校校長会(葵中校長)	
9	保護者	阿部 奈穂子	未就学児保護者(本量寺こども園保護者会)	
10	保護者	亀山 弘子	小学校 PTA(加茂小 PTA)	欠席
11	保護者	茂野 芳子	中学校 PTA(七谷中 PTA)	欠席
12	保護者	中林 利恵	小学校 PTA(下条小 PTA)	
13	保護者	樋口 明宏	中学校 PTA(須田中 PTA)	欠席
14	その他	市村 正子	加茂市民生児童委員協議会副会長	
15	その他	高畑 結城子	加茂市商工会議所事務局長	
16	その他	目黒 悦子	加茂市役所商工観光課課長補佐	
17	その他	小出 浩輔	公募	ワライ
18	その他	笹川 裕子	公募	
19	その他	松原 啓	公募	欠席

教育委員会事務局

職名	氏名	備考
加茂市教育委員会 教育長	山川 雅己	
加茂市教育委員会 庶務課 課長	草野 智文	
	課長補佐 長澤 敦	
加茂市教育委員会 学校教育課 課長	阿部 一晴	
	課長補佐 吉田 国義	
	係長(指導主事) 廣野 達也	
加茂市教育委員会 社会教育課 課長	有本 幸雄	
加茂市教育委員会 スポーツ振興課 課長	五十嵐 卓	

教育委員(オブザーバー)

職名	氏名	備考
加茂市教育委員(教育長職務代理)	乙川 智子	ワライ
加茂市教育委員	田邊 俊樹	ワライ
加茂市教育委員	藤田 和子	欠席
加茂市教育委員	太田 正純	ワライ

第 8 回 加茂市立小中学校適正規模等検討委員会 次第

日 時 令和 4 年 9 月 30 日 (金) 13:30～
場 所 加茂市役所 5 階 全員協議会室

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

I 埼玉県吉川市立美南小学校の視察報告

II 答申(案)について

4. その他

5. 閉 会

視察報告書

- 1 視察年月日 令和4年9月22日(木) (14:00~15:45)
- 2 視察先等 埼玉県吉川市立美南(みなみ)小学校
(埼玉県吉川市美南4-17-3)
- 3 視察者 加茂市立小中学校適正規模等検討委員会
(5名) 遠藤会長・平野副会長・滝沢
委員・中村委員・皆川委員
加茂市教育委員会(2名) 藤田委員・太田委員
加茂市教育委員会事務局(4名) 山川教育長・草野庶務課長・有本社会教育
課長・長澤庶務課課長補佐



4 視察の概要

○目的

- ・文教施設と高齢者施設の複合化

○背景

- ・人口が急増している新興住宅地における学校施設の整備に当たり、地域にまだ整備されていなかった公共施設と併せて複合化を実施。
- ・地域ニーズを踏まえ、小学校を中心に、乳幼児から高齢者まで、様々な年代が利用できる施設を整備。

○施設構造/規模等

鉄筋コンクリート一部鉄骨造 3階建て

敷地面積/17,718.6㎡ 建築面積/4,507.19㎡ 延面積/9,833.56㎡

施設	面積	運営主体	施設概要
小学校	8,134㎡	市直営 (教育委員会)	・音楽室、図工室、多目的室、家庭科室を一般開放。(平日：夕方～夜、休日等：通日)
地区公民館	299㎡	市直営 (教育委員会)	・洋会議室や和室を整備。 ・洋会議室は間仕切りを外しての利用も可能。
高齢者ふれあい広場	182㎡	社会福祉協議会 (運営委託)	・高齢者の交流の広がりや、介護予防を目的とし、週2回レクリエーションや給食等のサービスを行う。
子育て支援センター	105㎡	NPO法人 (運営委託)	・親子で様々な体験ができたり子育ての情報(地域、幼稚園、保育所等)を得られる施設。 ・転入者の多い地域であり、友達づくりや子育て相談等で利用されている。
学童保育室	358㎡	市直営 (市長部局)	・保護者の就労等のため、放課後における保育が必要な小学校の児童を保護者に代わり保育を行う。

埼玉県吉川市

市制施行	平成8年4月1日(町→市)
面積	31.66km ²
人口	72,988人(R4.5.1現在)
児童数	4,187人(R4.5.1現在)
生徒数	2,188人(R4.4.1現在)
学校数	小学校：8校(157学級) 中学校：4校(72学級)
世帯数	31,547世帯(R4.5.1現在)

吉川市立美南小学校

創立	平成25年4月
児童数	1,363人(40学級+特支5学級)
※ベッドタウン化→今後も人口増が見込まれる。	

○複合化にあたっての工夫

- ・児童と地域利用者の入り口を明確に分離、地域利用者は事務室前を通る動線とすることでセキュリティに配慮。
- ・1階部分に地区公民館、高齢者ふれあい広場、子育て支援センター、学童保育室といった地域施設を配置、小学校の特別教室や体育館も地域施設とはゾーニングを明確に分離しつつ、1階に配置し、学校時間外に地域開放するにあたって管理しやすくしている。
- ・普通教室等は2階以上に設置しているが、学校運営時間以外は階段の防火扉を閉めて外部からの侵入を防いでいる。

○効果・メリット

- ・就学前の親子が子育て支援センターを利用することにより、小学校に馴染みができ、小1ギャップの緩和が図られている。
- ・児童と高齢者等施設利用者が日常的に交流する場が生まれ、社会性の向上に寄与。
- ・多世代が利用する施設が複合化することにより、地域コミュニティの拠点となっている。
- ・避難訓練を複合施設利用者と学校で共同で実施しており、地域防災にも寄与している。

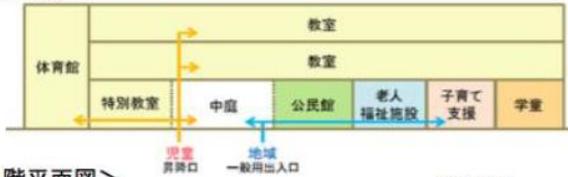
○課題・デメリット

- ・管理・運営が施設毎に異なる主体により実施されている。(小学校・公民館は教育委員会、老人福祉施設は社会福祉法人、子育て支援施設はNPO法人、学童保育は市長部局)
- ・施設の維持管理・修繕等は各施設が実施しているが、不具合の生じた箇所の所管が不明な場合は担当者間で協議し対応。
- ・各施設の休館日が異なるため、施設管理等での日程調整が難しい。

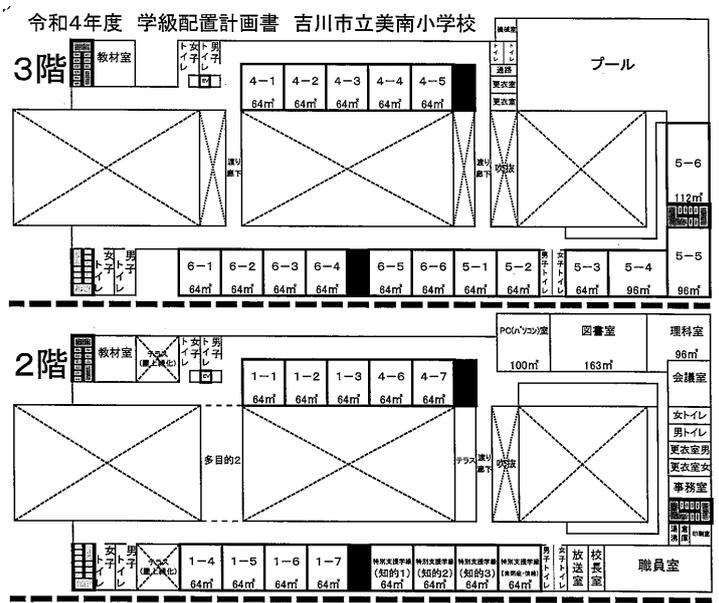
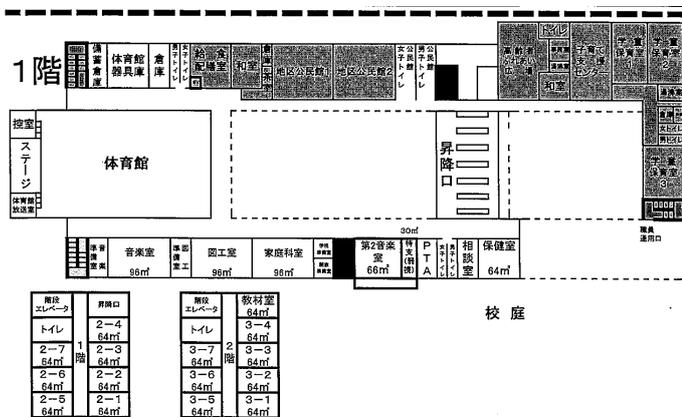
○建設に係る経費

・事業費	用地取得費	3,829,926千円	
・財源内訳	国庫支出金等	893,903千円	23.3%
	県補助金	43,008千円	1.1%
	市債	2,244,900千円	58.6%
	一般財源	648,115千円	17.0%

<立面図>



<1階平面図>





※視察の様子



※視察の様子



※学校運営時間以外は防火扉を閉める



※広い廊下



※教員の手先まで映し出す



※備蓄倉庫



※備蓄倉庫内



※備蓄倉庫内



※地区公民館入口



※高齢者ふれあい広場



※子育て支援センター



※音楽室（公民館と共用）



※学童保育室



※教室廊下側の壁はスライド式により有効活用



※図書室



※調理室（公民館と共用）

美南小学校視察資料

1 施設概要

- (1) 所在地 吉川市美南四丁目17番地3
 (2) 敷地面積 17,718.61㎡
 (3) 構造・階数 鉄筋コンクリート一部鉄骨造（3階建て）
 (4) 延床面積 9,833.56㎡

※詳細は、パンフレットを参照してください。

2 事業経過

- 平成22年度 用地取得・基本設計・実施設計
 平成23・24年度 建築工事（平成23年9月建築工事着工）
 平成24年度 外構工事
 平成25年度 開校（平成25年4月1日開校）

3 事業費・財源

(1) 事業費

3,829,926千円

【内訳】

用地取得費	1,523,801千円
建築工事費	2,109,985千円
外構工事費	145,215千円
設計管理費	50,925千円

(2) 財源内訳

（単位：千円）

	財源	金額	割合
国費	公立学校施設整備費国庫負担金	830,520	23.3%
	学校施設環境改善交付金	33,383	
	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金	30,000	
県費	埼玉県児童厚生施設等整備費補助金	21,504	1.1%
	埼玉県放課後児童クラブ整備費補助金	21,504	
市債	学校教育施設等整備事業債	1,370,000	58.6%
	学校教育施設等整備事業債	467,100	
	学校教育施設等整備事業債	397,200	
	緊急防災・減災事業債	10,600	
一般財源	一般財源	648,115	17.0%
計		3,829,926	100.0%

吉川市立美南小学校 複合施設視察 質疑応答一覧

No.	質問	回答
1	学校施設とその他公共施設複合化の経緯について	美南小学校が立地する美南地区は、JR武蔵野線吉川美南駅（H24開業）に隣接し、都市再生機構等が土地区画整理事業により計画的な基盤整備を行った新市街地である。既存の公共施設がなかったため、前例である吉川小学校（H15大規模改修時に複合化済み）の事例を踏まえ、複合施設として整備した。複合化する施設については、学校を整備する地域に充足できていない公共施設を基本に整備した。事前に庁内に照会をして希望があった施設を整備しており、除外した施設はない。また、議会等からの要望もなかった。
2	複合化に対する地域住民や市民の意見聴取について	（実施方法、実施時期、実施回数、主な意見など） ワークショップを3回開催し、意見聴取をした。 参加者：21名（PTA、社会教育委員、関係自治会、学識経験者（複合施設化している吉川小学校の校長、関係学校長、複合施設関係課職員、事務局、設計事務所） ○第1回（平成22年7月5日） 事務局からの設計条件をもとに設計事務所で平面計画案を作成。これをもとに意見交換を実施。 ○第2回（平成22年7月12日） 第1回に続き、意見交換会を実施。 ○第3回（平成22年7月26日） 吉川小学校複合施設の視察後、意見交換会を実施。
3	セキュリティ確保の考え方について	基本的には「地域の目で見守る」という考え方を取っているが、具体的なセキュリティ対策は以下の通り。 ・ゾーニング 学校と複合化した施設の入り口を分け、公民館など複合化した施設及び家庭科室等一般公開と供用する施設を1階に設け、2階より上に学校の施設を配置した。複数の人の目に見守られた交流空間として上履きで歩行可能な中庭を設けている。 ・動線計画 アプローチは、歩行、自転車、車の3つを想定し、児童と車の出入口が重ならないように配慮した。 ・防犯カメラ 防犯カメラを計4台設置し、セキュリティを強化している。
4	複合化によるメリット、成果について	・教育上の効果 就学前の母親が子どもと一緒に子育て支援センターを利用することにより、将来子どもが通う小学校に馴染みが出来て、親も子どもも安心感を持って一年生になることが出来る。 ・地域住民への効果 当施設は様々な世代の方が利用する施設が複合化され、地域コミュニティの拠点となっており、今後も地域活動の活性化が期待される。 ・財政上の効果 施設建設にあたり、各施設を単体で整備するよりも共有部分等の建設や用地の確保等にメリットがあった。
5	建設後に生じた問題・課題について	・学校の負担増 複合施設に関する問い合わせが学校に行くことがあり、対応が必要な時がある。また、各施設管理者や利用者等と連絡調整をする仕事が発生的に発生してしまう。複合化した学校の運営にあたっては、校長先生、教頭先生及び教務主任など教員の理解と協力が不可欠であり、最も重要なポイントとなる。 ・施設管理の難しさ 日常の維持管理等を一括で行う場合、複合化した学校は関係個所との調整時間が多くかかってしまう。 ・児童増加への対応 美南地区は児童数が増加しており、教室不足が生じている。既に多目的教室等を普通教室に転用しており、転用可能な空き教室が少ない状況が続いている。 ・駐車スペースの不足 児童数の増加により、教職員数が増えているため、駐車スペースが不足している。
6	学校長は、どこまでの管理責任を負うのか。公民館、高齢者ふれあい広場、子育て支援センターには、それぞれ異なる職員を配置しているのか。あるいは、兼務しているのか。	施設の管理責任は基本的には各施設の管理者が負うこととなるため、学校長は小学校部分の管理責任を負っている。 美南地区公民館は臨時職員が配置されており、高齢者ふれあい広場は社会福祉協議会へ委託、子育て支援センターはNPO法人子育てネットワークへ委託、学童保育室は非常勤特別職員及び臨時職員が配置されている。
7	管理区分、施設利用料や光熱水費等の会計区分等は、どのように区分けしているのか。また施設利用料はどのように設定されているのか。	施設利用料、維持管理、補修修繕については、担当部署ごとに予算化。不具合の生じた個所の所管が不明な場合は、担当者間で協議のうえ対応。施設警備・光熱水費については、まとめて対応する方が円滑に事務を行えるため、教育委員会（教育総務課）で一括して予算化。
8	学校施設とそれ以外の施設の共有スペースはあるのか。例えば、図書館が共有スペースである場合、学校の図書館を開放するのか。あるいは、公民館の図書館を借りるのか。（その責任の所在は。） 駐車場、駐輪場はどのような使用区分となっているのか。 グラウンドや体育館の学校開放を行っているか。行っている場合、学校長が許可するのか。	共有スペースは、1階部分の通路とトイレ。また、駐車場についてはエリアを区切って使用。駐輪場についてはそれぞれ設置。 学校開放については、包括的に学校長がスポーツ推進課長へ許可し、スポーツ推進課長が利用者に許可をしている。
9	美南小学校内の併設施設の管理・運営は教育委員会、市長部局、社会福祉法人、NPO法人とのことだが、小学校を含め連絡会議等連携は、どのように持たれているのか。	連絡会議などは特別設けていない。その都度必要に応じて教育委員会が音頭を取って担当部署と調整を図り、対応している。
10	学童、子育て支援センター、デイサービスなどの運営主体について	公民館：教育委員会（生涯学習課） 子育て支援センター：市（子育て支援課）がNPO法人に業務委託 学童保育室：市（保育幼稚園課） 高齢者ふれあい広場：市（長寿支援課）が「ふれあいデイサービス事業」として社会福祉協議会に委託。

11	開校時間帯において双方の活動に支障が生じないように配慮されていることについて（学校として配慮を依頼している点、学校が配慮している点など）。	大前提部分として、学校活動が最優先であるため、それを理解してもらったうえででの活動となる。（例えば、家庭科室や音楽室などの特別教室を一般開放しているが、学校活動に支障が出ない範囲で開放している） また、設計段階での配慮だが、教室配置図面にあるとおり子どもの鳴き声が授業に支障を与えないよう教室と子育て支援センターを分けて配置している。また、児童と利用者の導線が交差する箇所においては、利用者の進行方向に「止まれ」の標識を配置し、事故の未然防止に努めている。
12	複合施設としての学校運営において重要な点は何か。	学校運営については、管理職の理解が非常に重要であると考えている。美南小学校においては、ワークショップから参加していた先生が美南小学校開設時の教頭先生として赴任されたことで、大きなトラブルもなく、スムーズな学校運営が出来た。
13	地域との連携について、学校単一の場合と比較して、地域との連携、状況・内容に違いがあるか。	複合施設利用者が学校の雰囲気などを肌で感じることで安心感を持つことが出来る。また、児童や利用者による世代間での交流が生まれるため、相互利益は大きいと考える。
14	小学校の教室について、オープンタイプ、クローズドタイプが混在しているように見受けられるが、実際の運用状況について。（例：学年で分かれて利用している。可動間仕切りにより利用している。など）	可動間仕切りで、授業参観や習字の時間など、広く授業を実施する際にはオープンスタイルとしている。
15	教室の広さはどのくらいか（㎡）	基本的には64㎡。 （多目的室から教室転用した部屋は64㎡以上）
16	施設的な特徴を活かして、取り組みを行っていることはあるか。（例：広い廊下スペースを利用してイベントを実施、ピロティで授業を実施など）	体育授業や休み時間での中庭活用や、広い廊下を使用した習字の授業を実施している。また、児童数に対し屋内運動場が手狭な為、多目的ホールを利用したマット運動などの体育授業も実施している。また、ピロティは雨の日の集合場所などでうまく活用している。
17	小学校と公共施設の交流を狙って中庭広場などを整備されているが、利用状況、活用状況についてはどうか。	開校当初は中庭での世代間交流を図っていたが、柱が角ばっているなど安全面での保証が取れず、児童の利用は制限してた。令和元年度、柱に保護マットを設置したことにより課題が解消され、現在は休み時間での利用などにより、児童と複合施設利用者との間で多少の交流が生まれているようである。
18	複合化（小学校、公共施設）に起因するトラブル、事件等の発生状況について。	現時点ではトラブルや事件等はない。
19	全館イベント、交流イベントなどを定期的実施したりしているか。また、公共施設側から共同イベントの申し入れ等はあるか。	全館イベントとしては避難訓練を実施。また、「いのちの教育」として子育て支援センターに通う母親・未就学児とのふれあいイベントや高齢者ふれあい広場に通う高齢者との交流がある。また、子育て支援センターと高齢者ふれあい広場の施設が隣り合わせの為、世代間交流の拠点にもなっている。 （コロナ禍は活動制限あり）
20	複合施設との接点部分について、校務時間内は相互通行可能か。	1F部分は相互通行可能
21	学校開放部分の清掃等についてはどのように行っているか。また、学校備品の利用をどの程度認めているか。（利用時の破損修繕など）	日常的な清掃は学校で行い、施設開放時には清掃を依頼している。備品については基本的に共有せず、学校用準備室と開放用準備室を分けている。
22	複合化の検討段階における貴市内部での取り組みについて	庁内では教育総務課を中心として、関係課（学校教育課、生涯学習課、子育て支援課、長寿支援課、保育幼稚園課）と複合化に関する調整会を定期的に行き、開校準備までの調整を図った。
23	複合施設に対する学校関係者・地域住民・子育て支援世帯等からの評価について	美南地区は新市街地でほかに公共施設が無かったため、利用者からの評価は高いと聞いている。
24		
25		

吉川市立 美南小学校



吉 川 市

●吉川市立美南小学校の施設概要

名称	吉川市立美南小学校
所在地	吉川市美南四丁目17番地3
建物構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 3階建て
施設規模	敷地面積 17,718.61m ²
	建築面積 4,507.19m ²
	延べ面積 9,833.56m ²



施設内容(令和4年4月1日現在)

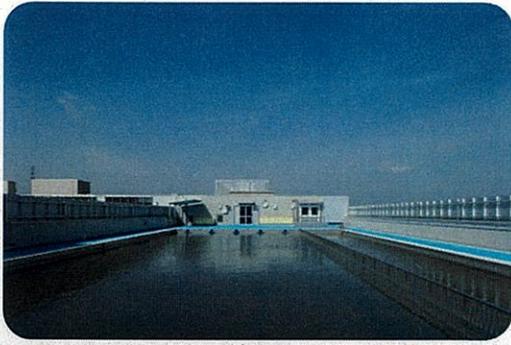
- ・普通教室40室・特別支援学級5室・少人数指導教室・音楽室2室
- ・図工室・家庭科室・パソコン室・図書室・理科室・多目的室・保健室
- ・相談室・職員室・校長室・事務室・更衣室・会議室・放送室
- ・屋上プール・防災備蓄倉庫・体育館
- ・美南地区公民館(1, 2, 和室)・高齢者ふれあい広場
- ・子育て支援センター・学童保育室(3室+敷地外2室)

児童数(令和4年5月1日現在)

1,363人



平成25年2月撮影



■ 学校の沿革

- 昭和57年 教育委員会が町長へ新設計画及び要望書を提出
- 平成 2年 駅南地区の市街化区域編入及び土地区画整理事業の認可
- 平成 4年 住宅・都市整備公団と町長が学校用確保に係る覚書を締結
- 平成21年 建設方針の決定
- 平成22年 基本設計、実施設計、用地取得
1月27日:教育委員会で学区を決定
- 平成23年 6月13日:学校設置条例可決(学校名決定)
9月:建築工事着工
- 平成25年 3月30日:竣工記念式典・内覧会
4月1日:開校
- 平成30年 仮設校舎(14教室分)の賃貸借契約開始(10年間)

美南地区公民館

開館時間：午前9時～午後9時
(特別教室 平日のみ午後6時～午後9時)
休館日：年末・年始(12月28日～1月3日)

利用可能な特別教室(使用料：100円/時間)
音楽室、図工室、家庭科室



洋会議室



家庭科室

洋会議室(400円/2時間)、和室(200円/2時間) ※ 市外利用者は料金2倍

子育て支援拠点

～ふあみりんぐ『美南の風』～

主体：吉川市子育てネットワーク
開館時間：午前10時～午後3時
※ 事前登録なし。無料。

～吉川市立美南学童保育室～



高齢者ふれあい広場

家に閉じこもりがちな方のためのデイサービスです。
交流をひろげ、介護予防のため、
レクリエーション(9時から送迎あり)
を行います。

利用料金：200円/日(食費等は実費)

実施日：水曜日・木曜日



9

埼玉県吉川市 みなみ 吉川市立美南小学校

新しい住宅地に求められる学校施設を含めた公共施設の整備

- ・地域のニーズに応じた複数の公共施設と一体的に整備
- ・地域利用の施設を1階に集約し、施設管理の負担を軽減

- 学校規模 / 17学級 527名
(特別支援学級 / 2学級 5名)
- 複合施設(床面積) / 小学校 (8,134㎡)
公民館 (299㎡)
高齢者ふれあい広場 (182㎡)
子育て支援センター (105㎡)
学童保育室 (358㎡)
- 整備時期 / 平成24年
- 構造 / RC造地上3階建て



学校の特別教室と公民館の間に設けられた学校と地域が共有する中庭

施設整備に要した期間(構想・計画等から工事まで)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
構想・計画等						
設計			平成20年3月学校用地の確保及び取得時期決定 平成21年12月建設方針決定			平成23年3月学校用地取得 平成23年9月～平成24年1月建設工事
工事			平成22年5月～平成23年3月設計			

現地調査

施設整備の背景

美南小学校が立地する美南地区は新興住宅地であり、人口が急増している学校をはじめ既存の公共施設がないため、より広範囲の地域のニーズを踏まえ、学校とその他の公共施設との複合施設として整備した。

管理・運営の体制

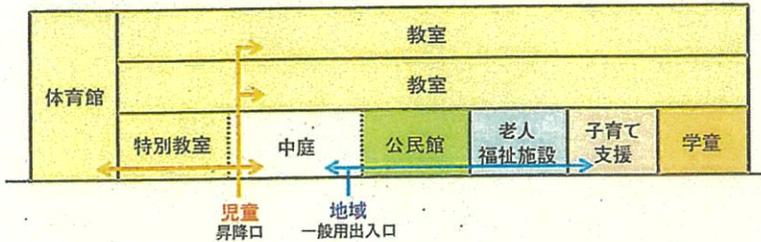
施設	利用時間(平日)			所管	管理・運営
	8	12	17		
小学校	←	→	→	教育委員会	教育委員会
公民館	←	→	→	教育委員会	教育委員会
老人福祉施設	←	→	→	市長部局	社会福祉協議会
子育て支援センター	←	→	→	市長部局	NPO法人
学童保育		←	→	市長部局	市長部局

施設の配置・動線

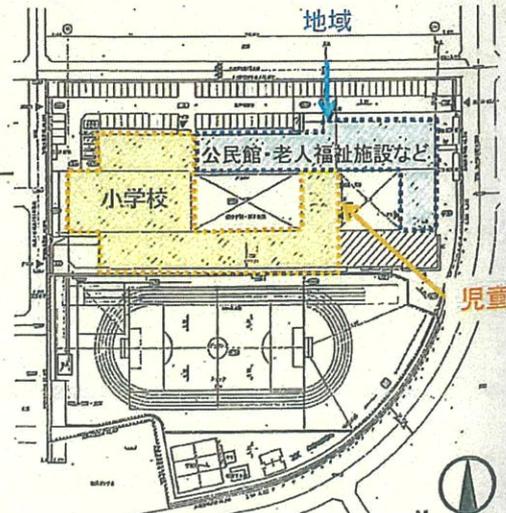
地域の利用者が利用する各施設や学校開放にも使用する特別教室は1階に配置し、普通教室や職員室などの諸室は2階以上に配置することで管理をしやすくしている。

1階の中庭は学校と地域の利用者が自然に交流できるスペースとして設置している。

<立面図>

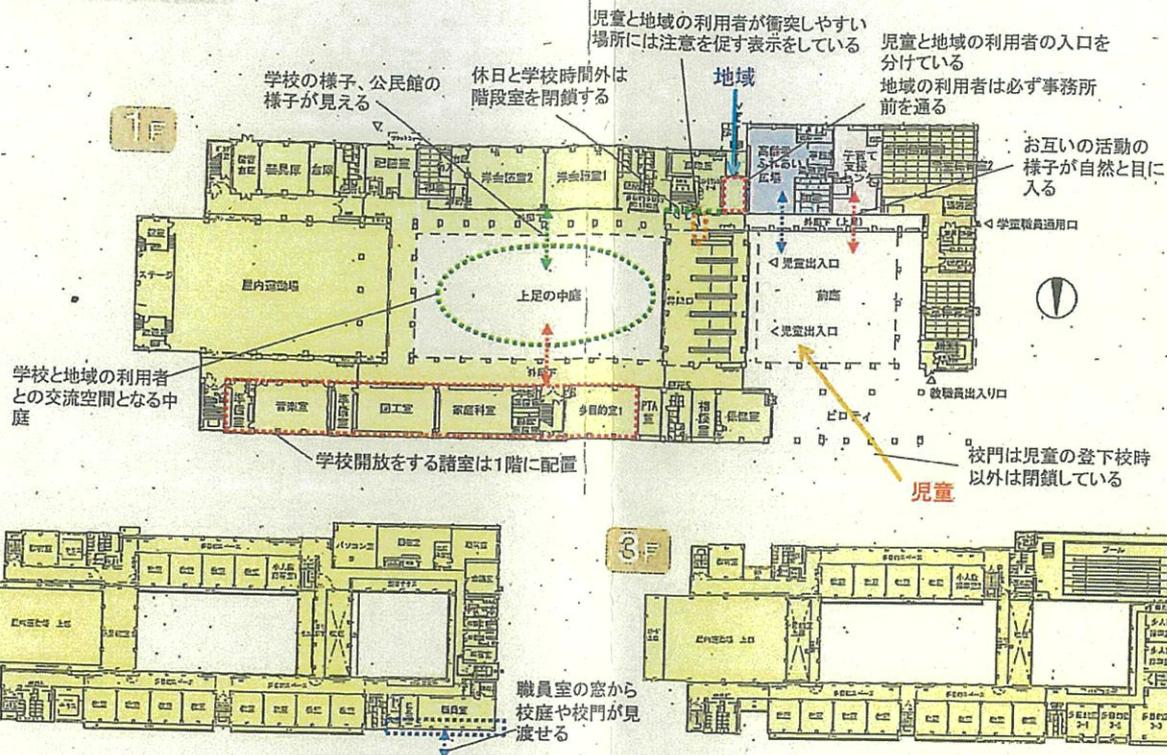


<配置図>



- 凡例
- 小学校
 - 学童
 - 公民館
 - 地域
 - 老人福祉施設
 - 子育て支援センター

平面計画上の特徴



現地調査

公共施設の整備

- ・新興住宅地における学校施設の整備を、その他の公共施設の整備と併せて実施
- ・地域のニーズを踏まえ、小学校を中心に、乳幼児から高齢者まで、様々な年代が利用する施設を複合化
- ・小学校の特別教室や体育館を地域開放することを前提として整備



子育て世代・共働き世代が増加する地域の実情に応じた施設を整備
(左：子育て支援センター、右：学童保育室)



デイサービスでは小学校の給食を提供 学校教育の活動時間外に体育館を地域に開放

- 新興住宅地における学校施設の整備を、その他の公共施設と併せて行い、多世代が集う地域の交流施設とした
- ・各公共施設を単体で整備するよりも、財政的な負担が軽減した

委員の意見より

- ・新興住宅地にある学校であり、今後も児童数増加が見込まれる。このため、小学校を拠点として多世代の住民が利用できる複合施設として整備することは地域コミュニティの形成を図る観点からも意義がある。

複合施設としての留意点

- <事故防止>
 - ・公民館等への来館手段に、車や自転車を利用する人もいることから、児童と車等が接触しないように動線を配慮した。
 - ・校内で走っている児童と高齢者等が衝突しないように、注意が必要な場所には一時停止の表示等をしている。
- <防犯対策>
 - ・児童と地域の利用者の出入口は別とし、児童が使用する校門は登下校時以外は閉鎖。地域の利用者の出入口では担当職員が受付を行っている。
 - ・学校教育の活動時間外に地域の利用者等が小学校の普通教室等へ入らないように、階段室の扉を閉鎖している。
- <自然な交流>
 - ・学校や各公共施設の活動の様子が目に入るような施設となっており、公民館と小学校の間の中庭では、児童と地域の利用者との交流も見られる。



衝突しやすい地点に設置された一時停止の表示



地域利用者の入口には、受付を設けている

複合化の実績を活用

- ・美南小学校が整備される10年ほど前に、同市内の既存市街地にある吉川小学校が、公民館・老人福祉施設・学童保育を併設した複合施設として整備・運営してきた実績があった。
- ・美南小学校は、この経験を活かして計画・運営している。

在籍児童数	学年	男子	女子	計
	1年	113	105	218
	2年	98	129	227
	3年	116	122	238
	4年	118	119	237
	5年	110	114	224
	6年	109	111	220
	計	664	700	1364



よしかわしりつみなみしょうがっこう
令和4年度 吉川市立美南小学校スクールプラン

〒342-0038
埼玉県吉川市美南四丁目17番地3
Tel. 048-984-3730

本校の教育目標
自ら考え、進んで行動する児童を育成する。

学び続ける子

やさしい子

ねばり強い子

学校研修課題
『主体的に 生き生きと学びあう児童の育成』
～ユニバーサルデザイン化された授業を通して～



目標とする児童像

美南小学校の子は、

- すすんであいさつをします。
- ありがとうの心を大切にします。
- すすんで運動をします。
- 友だちを大切にします。
- 楽しく勉強します。
- だまって掃除をします。

目指す学校像

「熱意、誠意、創意を持って、意欲あふれる子どもが育まれる学校をつくる」

保護者の願い

- いじめのない安全安心な学校で学ばせたい。
- 確かな学力をつける学校で学ばせたい。
- 思いやりのある子を育てる学校で学ばせたい。
- 親身に指導してくれる教師のいる学校で学ばせたい。

令和4年度の経営方針

- 1 全教職員が経営参画意識を持ち、熱意誠意創意を持って、特色ある教育活動を展開します。
- 2 児童・保護者・地域の信頼と期待に応える安心・安全な学校づくりを推進します。
- 3 教育公務員としての使命感を持った教職員を、互いにリスペクトし合える教師集団をつくりまします。
- 4 吉川中学校との小中一貫教育、中曽根小学校との小小連携、保幼連携を推進します。

本校職員の合言葉 ◎悪い情報ほど早く報告 ◎報告、連絡、相談 確認、記録を徹底 ◎不祥事防止

目指す5つの零(ゼロ)

- 事故ゼロ
- いじめ未解決ゼロ
- 不登校ゼロ
- むし歯ゼロ
- 未納ゼロ

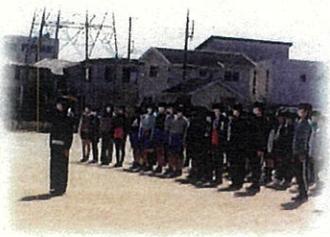


本年度の重点・努力点

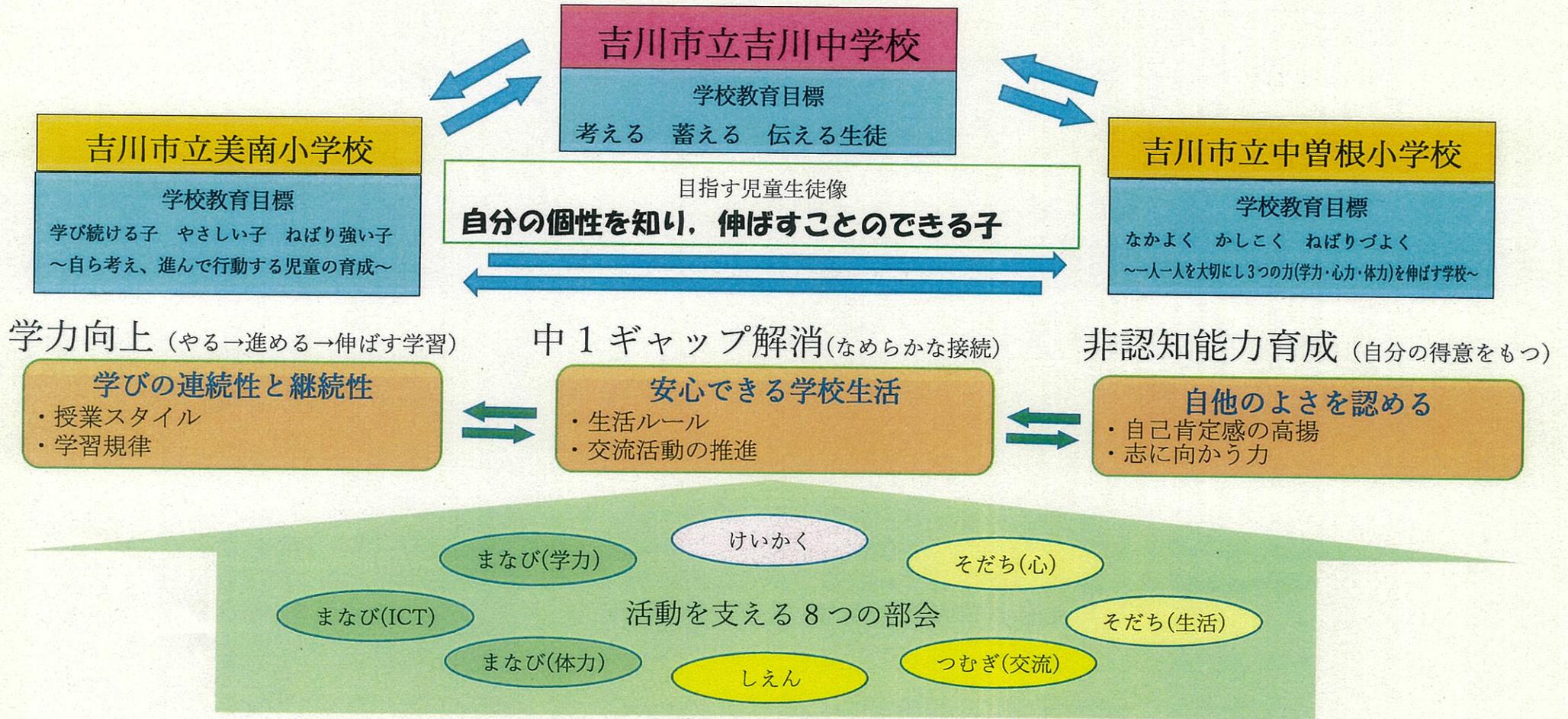
- ① 学級経営の充実 (学び空間の整備)
小中一貫の授業規律確立(美小・中小 STUDY9)、10時間以上の「話し合い活動」
- ② 学力向上 (個別最適な学び)
「ユニバーサルデザイン化された授業づくり」、主体的対話的で深い学び
非認知能力の育成「やり抜く力」「自制心」「協調性」
- ③ 教職員の資質向上
リスペクトポイント、ミドルリーダーの育成
- ④ 働き方改革 (意識改革)
時間外在校時間月 45 時間以内、仕事の優先順位をつけ計画的に

めざす教師像

- 児童一人一人を大切にする教師になります。
- 共に学び続ける教師になります。
- 共に汗を流す教師になります。
- 児童や保護者から信頼される教師になります。
- お互いを尊重し、リスペクトし合う教師になります。



令和4年度 吉川市立吉川中学校区小中一貫教育グランドデザイン



1 連携推進事業

- 児童生徒実態調査
- 教職員実態調査
- 実態分析と課題解決に向けた方策
・推進委員会
・担当者による部会
- 学習内容・児童生徒情報の共有

2 環境整備事業

- 規律・学習の共通理解・共通行動
・授業スタイルの共有・統一
・授業規律の共有・統一
・生活ルールの共有・統一
- 各校のコーナー(施設・生活の様子を掲示)
- 教科書を学級文庫として設置

小中連携を達成5つの事業

3 異校種体験合同研修事業

- 学習の成果物による交流
- 各校の研究発表会
・授業研究会参加
中曽根小
学力向上研究発表(外国語科)
美南小
校内授業研究会(学活)

4 ICT活用連携事業

- 授業や活動のビデオデータの共有
(外国語科・特活・部活)
- ICTを活用した教員の合同研修
- リモート会議による情報交換会

5 交流活動事業

- 生徒会・児童会のオンラインミーティング
- 動画による部活動紹介
- 学校公開への参加
- 吉川中学校での小学生の授業

吉川市 コミュニティ・スクール ～地域とともにある学校～

【学校用】

令和3年2月



コミュニティ・スクールとは？

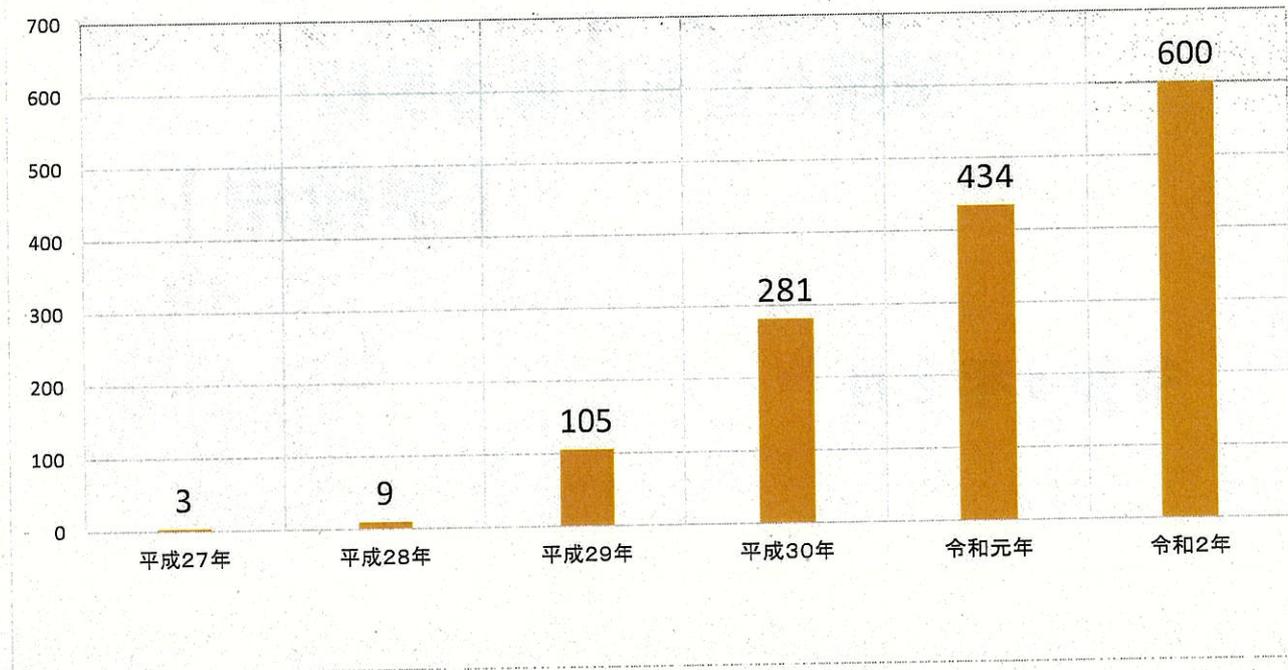
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、

「学校運営協議会」を置く学校を

「コミュニティ・スクール」と呼びます。

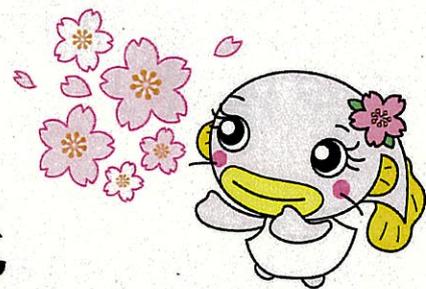
1 コミュニティ・スクール の県内の導入状況

埼玉県におけるCS導入状況



2 コミュニティ・スクール が求められる背景

- 急速な情報化
- 技術革新
- 社会の加速的な変化
- 異常気象への対応
- 防犯 等



3つのメリット

持続
可能性

当事者
意識
役割分担

目標
ビジョン
の共有



3つの期待される効果



学校・家庭
・地域の

相互
理解

家庭・地域の
学校支援推進による

教育の
質的向上

家庭・地域の教育力
向上による

地域
活性化

○校長が作成する学校運営の基本方針の承認

必須

○学校運営に対して校長や教育委員会へ意見

任意

○教職員の任用に関する意見

任意

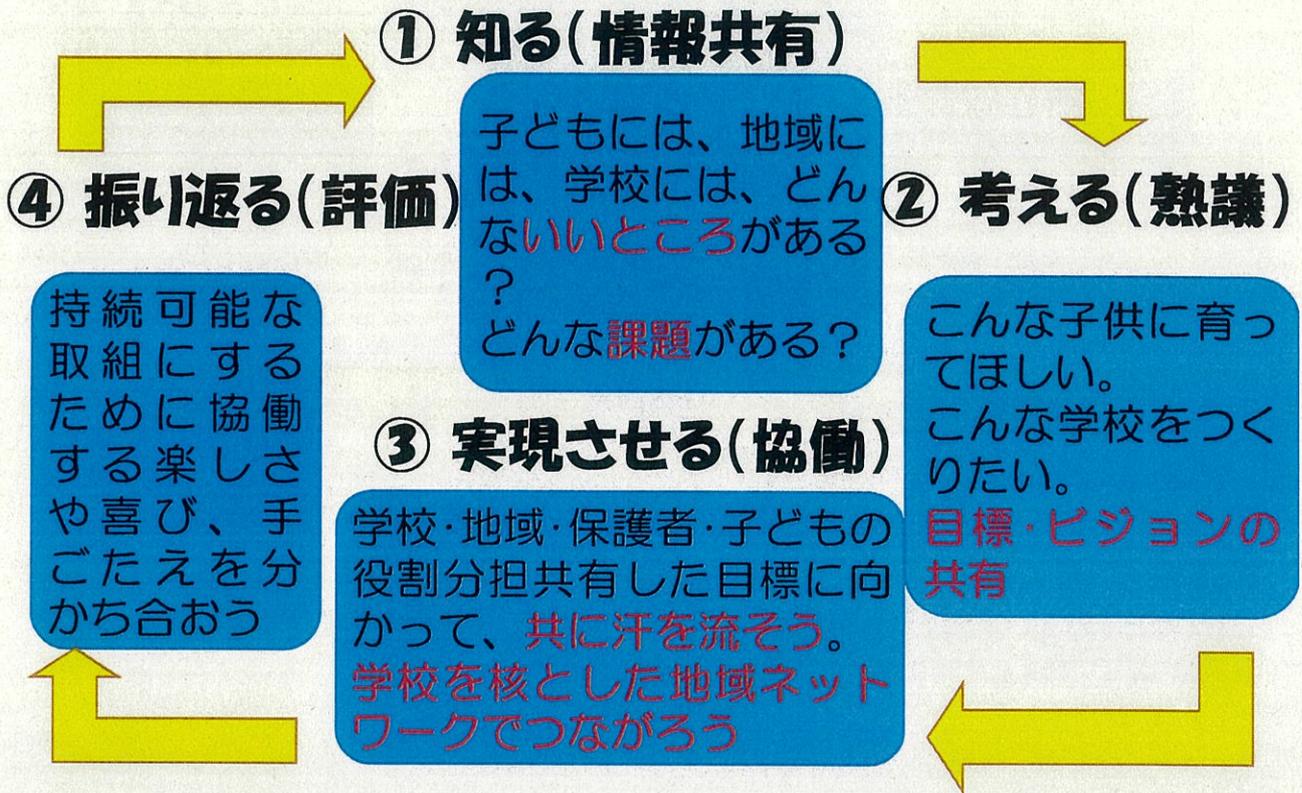
吉川市の目指すCSの役割と権限

①学校運営に関する「基本的な方針の承認」を行うこと

②学校や教育委員会に意見を申し出ること

③小中一貫教育の視点で学校関係者評価を実施すること

学校運営協議会委員の役割



ベクトルを
合わせる

吉川市イメージ

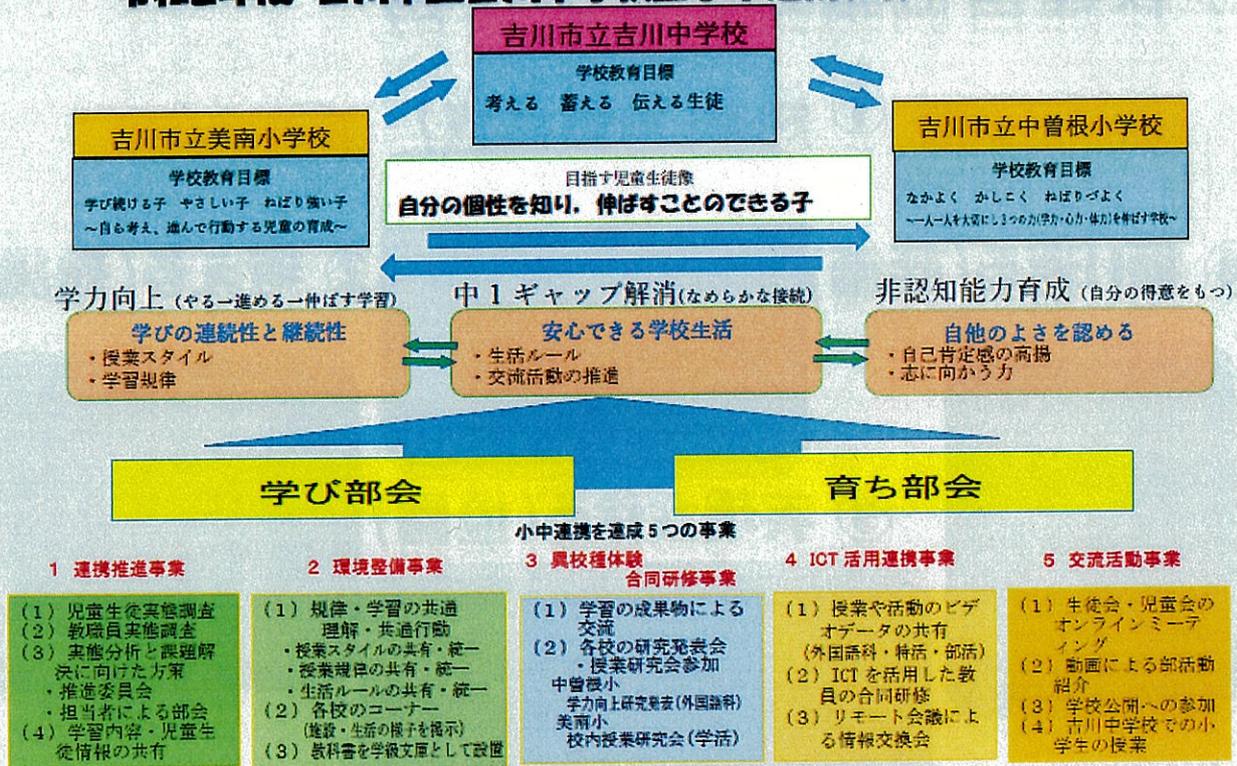
学校・地域の強みや課題

子供の姿

学校運営協議会

小中一貫教育

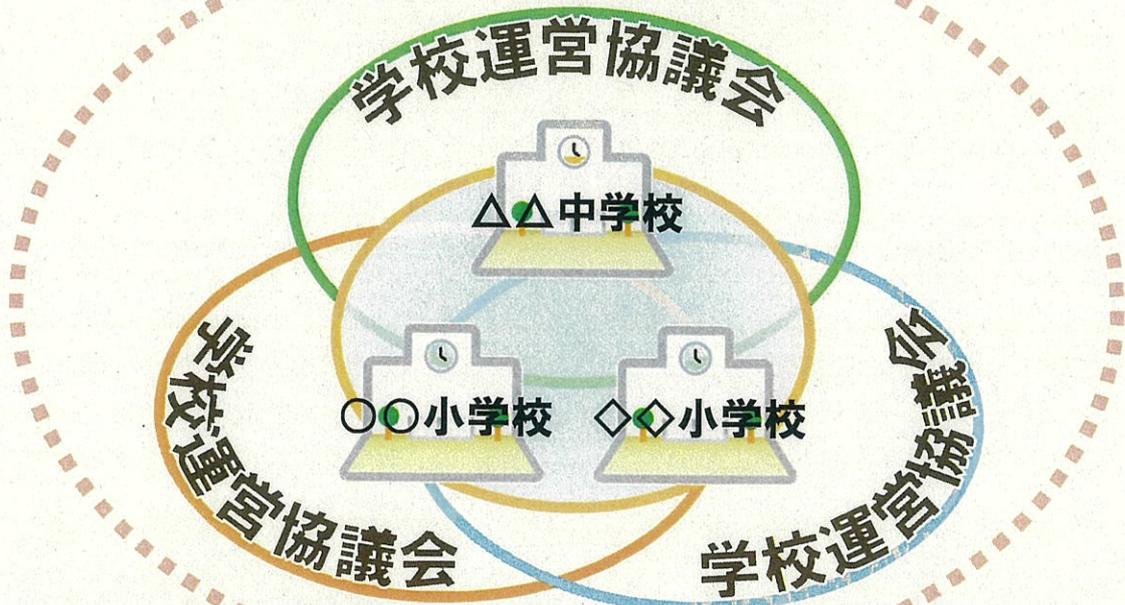
令和2年度 吉川市立吉川中学校区小中連携教育グランドデザイン



吉川中学校では..

これからは

小中一貫教育



地域に開かれた学校づくり

